

6/16(日) まど! 倫理号です。久振の時梅雨らしい雨です、不気味なほど大変  
喜ばしい雨です。東の雨はこの事なんだろう。今日は鳥居宗朝の  
コンクールです。我社も全員で参加です、特別な事かも知れませんが、昔の通り  
が出来る... どうか! 大勢に祈ります。 2013. 6. 15~6. 21

今週の  
倫理

今週の倫理 必読の、同じ事をする人  
その事をする人様です、さく  
ごららごらら

825号

辛七通ド アホ鳥

十九世紀にイギリスで活躍した劇作家の  
ジョージ・バーナード・ショーは「人間が賢  
いかどうかは、経験の量によるものではない。  
その経験をいかに活かすかによるのだ」とい  
う言葉を遺しています。

職場には「様々な経験をしているのに、ま  
ったく能力が向上しない」という人がいます。  
一方では、「同様の経験を積みながら、日々  
着実に向上している」という人もいます。こ  
うした能力の向上の差は、「普段から『経験』  
をどのように活かそうとしているか」という  
姿勢にあるといえます。

入社して五年目のEさんは、職場生活に不  
満を感じるようになりました。その理由は、  
同期で入社したF君のみが年月を経るごと  
にキャリアアップし、昇進しているからです。  
Eさんは職場内でめざましくステップアッ  
プしていくF君を、ねたましくさえ思ってい  
たのです。

そんなある日のこと、「自分には実績を挙  
げるチャンスが与えられていない。チャン  
スが与えられれば、努力して必ず会社の期待に  
応えられるはずなのに」と先輩のK氏に相  
談しました。Eさんの話をじっくりと聞いて  
いたK氏は、次のような助言をしました。

「チャンスを与えられているというF君は、  
『一を聞いて十を知る』という言葉が示すよ  
うに、仕事を単にこなすだけではなく、そこ  
から様々なことを学んで、次の仕事に活かす  
ことを意識して行なっているよ。そうしたプ  
ラスアルファの努力の積み重ねが、社内での  
チャンスを引き寄せているのだと思うよ。E



# その時、何を学ぶかで 明日への成長は変わる

絵・今谷 鉄柱

君のように『もしチャンスが来たら努力をす  
る』ではなくて、『プラスアルファの努力を  
積んでチャンスを引き寄せている』ところに  
F君との力の差があるんじゃないかな」

Eさんは、K氏の助言を聞きながら、入社  
した頃からF君が会議や仕事の合間に、サツ  
と手帳にメモを取り、それを時々確認してい  
る姿を思い出しました。そして、翌日からE  
さんは小さな手帳を持ち歩き、「これは大切  
なこと!」と感じたことはサツとメモを取り  
チャンスのアンテナを張り巡らすようにな  
ったのです。困難に遭遇しても(経験を積む  
チャンスが巡ってきたぞ!)と感謝の心持ち  
で立ち向かうようにもなりました。

成功するにせよ、失敗するにせよ、そこか  
ら何かを学び得るといふ姿勢を磨き高める  
ことが大切です。そうしなければ、自分自身  
の仕事力を高めることはできないからです。  
例えば、失敗をしても、「何でミスしてし  
まったのだろうか?」と、その原因をしっか  
りと考えて、その後の対応策を把握していれ  
ば、二度目に同じ失敗を繰り返す可能性は少  
くなります。さらに、仕事力の改善策のた  
めの課題もハッキリと見えてくるのです。

成功している時も、その要因を分析するこ  
とが大切です。謙虚な姿勢を保ちながら、昨  
日より今日の仕事で発展した成果を手  
に入れることが出来るでしょう。

人に与えられている時間は「一日二十四  
時間」と皆平等です。その時、一瞬一瞬をど  
のように学び、どう活かしていくかで自己は  
成長していくのです。